

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	国語	科目：	古文演習Ⅰ	単位数：	2	指導学年：	2
使用教科書	『高等学校 標準古典探究』（第一学習社）		副教材	『入試対策ベストセレクション古文単語325』（尚文出版）			

年間指導目標：

古文演習Ⅰ・大学受験における古文に対応できる基礎力を、演習を行いながら養成する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	文法：用言について理解し、活用表を書いたり活用の種類や活用形を答えたりできるようにする。助動詞について理解し、代表的な助動詞について意味を見分けて現代語訳をすることができる。 古語：読解必修語100語を身に着ける。 読解：宇治拾遺物語、伊勢物語 十訓抄 他	(知)	・言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解している。 ・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。	○	○	○	○		12
			(思)	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。	○	○		○		
			(態)	・これからの学習に見通しを持って、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。		○	○	○	○	

1 学期	期 末 考 査	文法：用言について理解し、活用表を書いたり活用の種類や活用形を答えたりできるようにする。助動詞について理解し、代表的な助動詞について意味を見分けて現代語訳をすることができる。	(知)	・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	○	12
		古語：読解必修語100語を身に着ける。 読解：宇治拾遺物語、伊勢物語 十訓抄 他	(思)	・作品の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	○	
		(態)	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を促そうとしている。	○	○	○	○		
2 学期	中 間 考 査	文法：助動詞や代表的な助動詞について理解する。主な助動詞の識別をできるようにする。	(知)	・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。	○	○	○	○	16
		古語：入試重要語120語を身につける。 読解：更科日記、伊勢物語、徒然草、大和物語 他	(思)	・歌物語・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品の表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	○	
		(態)	・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って随筆の様々な文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	○	○	○	○		
2 学期	期 末 考 査	文法：助動詞や代表的な助動詞について理解する。主な助動詞の識別をできるようにする。	(知)	・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	○	16
		古語：入試重要語120語を身につける。 読解：更科日記、伊勢物語、徒然草、大和物語 他	(思)	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品の表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	○	
		(態)	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・本文中に現れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	○		
3 学期	学 年 末 考 査	文法：敬語について理解し、経緯の方向などを理解する。文法や単語の知識を用いて、自力で古文の読解ができるようになる。	(知)	・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	○	○	○	○	22
		古語：最重要語80語を身につける。 読解：枕草子、大鏡、栄花物語 他	(思)	・現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各場面における登場人物たちの思いを読み取っている。 ・我が国の言語文化について理解を深めるために、古典としての漢文を読むことに意義を理解している。	○	○	○	○	
		(態)	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・これからの学習に見通しを持って、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を持っている。	○	○	○	○		
合計									78